

# 平成29年第1回定例会質疑のご報告

◆平成29年2月24日

平成29年度一般会計に対する質疑を伊勢崎クラブを代表して行いました。

議案第25号

平成29年度一般会計予算 質疑

- 1 平成29年度当初予算編成に当たっての所感について
- 2 重点政策とその特徴について
- 3 基金の考え方について

おはようございます。

伊勢崎クラブを代表して、議案第25号、平成29年度一般会計予算に対する質疑を行います。

まず、五十嵐市長3期目の無投票当選、おめでとうございます。

長い伊勢崎市の歴史の中で、2期連続の無投票は五十嵐市長の人柄と

五十嵐市長が目指す「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」を議員はじめ、多くの市民が認めた証であります。

これからも、健康に留意し伊勢崎市政発展のため、ご尽力賜りたいと存じます。

さて、今回提案されました一般会計当初予算は、五十嵐市政3期目のスタートを切るのにあたり、市民の生活をまず第一に考え、様々な分野に満遍なく配慮された予算であり、本員は大いに評価するものであります。

本市の将来を見据えた市政運営を着実に進めるとともに、市民生活をさらに充実させるための土台となる予算であると考えます。

そこで、大きく3点についてお尋ねいたします。

先ず、質疑の第1点目として、平成29年度当初予算を～ふるさと創生予算～と銘打たれた分けですが、当初予算の編成に当たっての市長の所感についてお尋ねいたします。

次に、質疑の2点目として、市長が特に力をいれて実施していきたいと

お考えの事業があるかと思しますので、～ふるさと創生予算～における重点政策とその特徴についてお尋ねいたします。

最後に質疑の3点目として、平成29年度当初予算においては、市税収入の増が見込まれているところですが、今後の超高齢化社会の到来に備え、

伊勢崎市の貯金である基金の重要度が高まってきていると感じております。

そこで、一般会計で管理する基金についての考え方について、お尋ねいたします。

以上で質疑を終わりますが、答弁によりましては再質疑を留保いたします。



議会傍聴に来て頂いた皆さん、  
ありがとうございました。